

861PKN100/242, 862PKN200/242

初期照度補正機能付電子安定器使用上のご注意

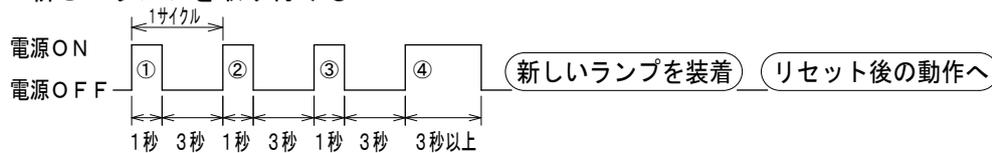
初期照度補正機能とはランプ初期の余分な明るさを自動補正する機能です。

一般的に新しいランプは設計照度より30%程明るくなります。初期照度補正機能とは、ランプが新しい時の明るさを抑え、設計照度（ランプ初期時の約70%の光束）を保つように電子安定器ごとに明るさを自動補正する機能です。本電子安定器には累積点灯時間を記憶するタイマーを内蔵しており、新しいランプに交換した場合は次の操作が必要となります。

- ランプを寿命末期まで使用の場合
寿命を検出し（間欠発振後、発振停止となります）、ランプを消灯して自動的にリセットします。ランプ交換後は、ランプの明るさが初期照度補正状態に戻ります。
- ランプを寿命末期前に交換する場合（手動でのリセット操作が必要です。）
ランプ寿命前に新しいランプと交換する場合には、自動リセットが動作しないため、手動でのリセット操作が必要となります。

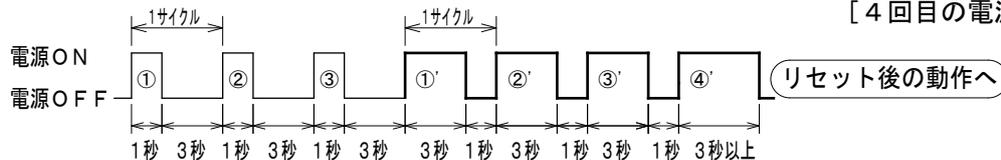
【個別にランプ交換を行う時のリセット操作(その器具だけをリセットする場合)】

1. ランプを取り外す
2. 電源ON（1秒）、OFF（3秒）の操作を4回繰り返す [4回目の電源ONは3秒以上]
3. 新しいランプを取り付ける

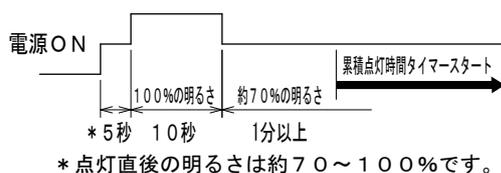


【一斉にランプ交換を行う時のリセット操作(全ての器具を一斉にリセットする場合)】
(全ての器具のランプを新しいランプに交換後、一括でリセット操作を行います。)

1. ランプを取り外す
2. 新しいランプを取り付ける
3. 電源ON（1秒）、OFF（3秒）を3回繰り返す、続けてON（3秒）、OFF（1秒）を4回繰り返す [4回目の電源ONは3秒以上]



【リセット後の動作（約15秒間は100%の明るさで点灯します）】

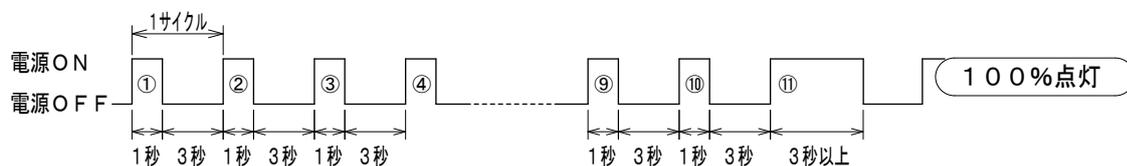


- リセット操作が完了しますと、点灯15秒後に約70%の明るさに変化します。
- リセット後の動作では、約70%の明るさに変化後1分以上点灯させたままにしてください。初期照度補正機能の累積点灯時間タイマーがスタートしません。
- リセット操作後、最初の点灯で左図の様に明るさが変化しない場合は、リセットが正しく行われていません。再度リセット操作を行ってください。2回目以降は照度補正された明るさで点灯します。

●その他の機能

[初期照度補正機能を解除する操作(100%点灯にする)]
(この操作をすると、初期照度補正機能で記憶していた累積点灯時間がクリアされますので、ご注意ください。)

1. ランプを取り付ける
2. 電源ON(1秒)、OFF(3秒)を11回繰り返す [11回目の電源ONは3秒以上]



- リセット操作の時間には幅を持たせていますが、操作をしてもうまく動作しない場合には、時計で1秒、3秒の時間感覚をつかんで操作を行ってください。



注意

- 2灯用器具の場合、ランプは2本同時に新しいものと交換してください。
- 器具・ランプの汚れに対する補正はできません。定期的な清掃をお勧めします。
- 蛍光ランプの明るさは点灯時間の経過につれて徐々に低下します。12000時間程度で交換して頂くのが明るさ維持の目安です。
- ホタルスイッチと組み合わせて使用する場合、手動リセットが動作しない場合があります。ホタルスイッチは2箇所までとしてください。

日立アプライアンス株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12
電話(03)3502-2111